

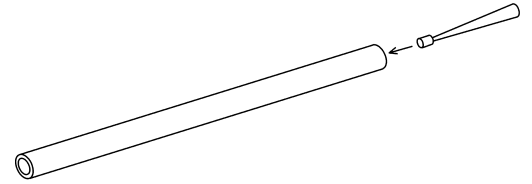
スポーツ用具から生まれた防犯用具の権利化

～実用新案登録を基礎として国際特許出願 国際的な普及を目指す～

会社概要

相談者は、一般社団法人日本マグネット吹矢協会の役員でありスポーツとしてのマグネット吹矢の普及活動をしています。

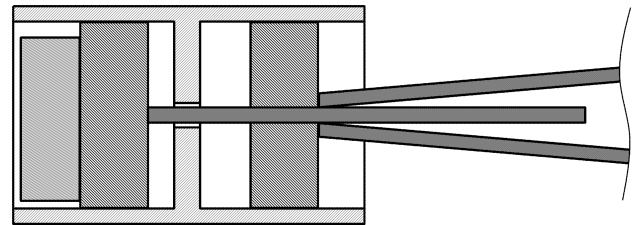
マグネット吹矢の矢の部分改良した防犯用具を開発しました。



きっかけ

犯人に着色剤を付着させて逃走を妨害する防犯用具としてカラーボールが普及しています。しかしながら、カラーボールを逃走する犯人に投げつけて命中させるのは容易ではありません。一方、カラーボールよりも命中させるのが比較的容易な防犯用具として、先端のカプセルに塗料を充填した矢を用いる吹矢型の防犯用具が開発されていますが、カプセルが割れにくく、命中しても塗料が付着しにくいという課題があります。

このような課題を解決するために、塗料を送り出す機構に特徴のある矢を開発しました。そして、この矢を用いた防犯用具を普及させるに当たり、権利化しようと考えたことが相談のきっかけです。



支援内容・ポイント

この防犯用具についての知的財産権としては、意匠権、特許権、実用新案権が考えられますが、権利化されていることをアピールすることが主目的であることや、製品の内容を勘案し、権利化までの期間が短く費用も少額である実用新案権の取得を目指すこととしました。

出願書類の作成に当たっては、先行技術の調査結果から新規性、進歩性を判断し、これらが満たされる構成を具現化した構成を請求項に記載するようアドバイスしました。出願は、当窓口の電子出願端末を用いて行いました。

日本マグネット吹矢協会は、海外でもマグネット吹矢の普及活動を行っているため、実用新案権取得後、国際特許の取得を目指すこととし、PCT出願を行いました。PCT出願も、当窓口の電子出願端末を用いて行いました。

成果

実用新案登録出願に際して先行技術を十分に行って請求項を検討した結果、新規性および進歩性のある実用新案権を取得することができ、PCT出願後に送付される「国際調査機関の見解書」において、全ての請求項について新規性、進歩性、産業上の利用可能性が「有」との見解がされました。この見解を踏まえ、実用新案登録に基づく特許出願を検討中です。

また、各出願を電子出願で行ったことによる手数料の減額や、小規模事業者の減免制度等を利用した結果、7万円程度でPCT出願を行うことができました。